

(21) サワラ資源造成支援事業

予算

運営費交付金、瀬戸内海栽培漁業推進協議会補助金

結果の概要

サワラの種苗放流による「資源造成型」の栽培漁業を展開するため、瀬戸内海 11 府県が協力して種苗生産・中間育成・放流を行う。今年度は、5 月 7 日と 5 月 13 日に大阪湾でサワラ流し網により漁獲されたサワラから 30.4 万粒を採卵し、14 万尾のふ化仔魚を用いて 5 月 11 日から 6 月 7 日まで飼育を行った結果、平均全長 36.5mm の種苗 38,600 尾を生産した。ふ化仔魚から取り揚げまでの生残率は、平均 27.6%であった。

また、6 月 7 日から 6 月 14 日まで、西鳥取漁協地先海域で中間育成された全長 75.4mm の種苗、計 15,000 尾を関西国際空港周辺海域の 2 カ所に放流した。

調査方法

種苗生産は、当水産技術センターの 100KL 水槽 2 面で実施した。なお、放流魚を識別するために、ふ化仔魚には 10ppm-12 時間の ALC 耳石染色を行った。また、放流魚の混入率調査は、8 月から 11 月にかけて、出漁したサワラ流し網漁業者全てから 5 尾ずつ 4 回にわたって 220 尾を買い上げ、耳石を取り出して蛍光顕微鏡により観察して ALC 染色個体の有無を判定した。

調査結果

表 1 には採卵結果を、表 2 には種苗生産結果を示した。また、表 3 には、大阪府における放流魚の混入率を示した。

担当者

睦谷一馬、鍋島靖信、佐野雅基

表1 平成26年度 サワラ採卵結果

回	採卵日	採卵数	受精卵数	受精率(%)	ふ化仔魚数	ふ化率(%)
1	5月7日	150,000	111,000	74.0	55,000	49.5
2	5月13日	154,000	127,000	82.5	85,000	66.9
計		304,000	238,000		140,000	

表2 平成26年度 サワラ種苗生産結果

生産回次	生産開始	収容尾数	生産終了	取揚尾数	全長(mm)	生残率(%)
1	5月11日	55,000	6月7日	15,800	38.2	28.7
2	5月17日	85,000	6月7日	22,800	35.4	26.8
計(平均)		140,000		38,600	(36.5)	(27.6)

表3 大阪府における放流魚の混入率

年級		2002 H14	2003 H15	2004 H16	2005 H17	2006 H18	2007 H19	2008 H20	2009 H21	2010 H22	2011 H23	2012 H24	2013 H25	2014 H26
0歳	調査尾数			18	52	90	78	33	87	33	43	2	12	16
	標識尾数※			0・0・0	7・2・0	43・6・0	32・12・0	1・0・0	5・3・0	1・0・0(1)	7・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0
	混入率(%)			0	17.3	54.4	56.4	3.0	9.2	6.1	16.3	0	0	0
1歳	調査尾数		28	0	51	0	37	34	67	55	79	166	169	
	標識尾数※		0・0・0	0・0・0	3・0・0	0・0・0	15・3・0	2・0・0	2・2・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	
	混入率(%)		0	0	5.9	0	48.6	5.9	5.9	0	0	0	0	
2歳	調査尾数	5	0	4	11	11	11	18	1	4	21	27		
	標識尾数※	0・0・0	0・0・0	0・0・0	1・0・0	2・0・0	2・0・0	2・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0		
	混入率(%)	0	0	0	9.1	18.2	18.2	11.1	0	0	0	0		
3歳	調査尾数	0	9	10	4	4	2	2	2	5	4			
	標識尾数※	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・1・1	1・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0			
	混入率(%)	0	0	0	50.0	25.0	0	0	0	0	0			
4歳	調査尾数	3	3	2	2	1	0	0	0	4				
	標識尾数※	0・0・0	0・0・0	0・0・0	1・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0				
	混入率(%)	0	0	0	50.0	0	0	0	0	0				

※標識の種類別(ポイント・二重・リング)に標記。
 グレー部分が今年度調査分。
 ()内は屋島事業所試験放流群。